



2020年 2月 4日
第93号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣部

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



横浜地本は精力的に活動しています！

JR 東労組横浜地本は現在青年部、エルダー組合員、ステーションサービス、駅、運輸職場、工務職場、検修職場、支社などさまざまな年齢層、職種の組合員が1000名以上東労組に所属し日々活動しています。

「JR 東労組横浜地本は壊滅している」というデマ情報を流している方がいるようですが、全くの嘘です。



横浜地本の組合員の皆さんはわかっていると思いますが、横浜地本は健全な労使関係のもとダイヤ改正についてなど団体交渉を行うとともにレクリエーションや各種取り組みも精力的に行い、再加入も実現しています。

現在、盛岡・大宮・東京・八王子・横浜地本の各地本に1000名をこえる組合員が所属しています。3地本の一部指導部の人たちが、「新しい労働組合が第一組合になる」と噂を流しているようですが、現実を見れば人数的にも新しい組合が第一組合になることはありません。新しい組合は少数派になります。



20春闘も始まっています。春闘勝利のための条件の1つとして、“組織力”があげられます。12地本の総団結を目指してきた中で、いまのタイミングで新しい労働組合を立ち上げ東労組の組合員を引き連れていくというのは、本当に働く私たちのためにプラスになるのでしょうか？会社に対して労働者は弱い立場です。だからこそ、一致団結して向かわなければなりません。「横浜地本は壊滅している。だから新労組へ行ったほうがよい」と嘘を言う3地本の一部指導部の人たちの目的は何でしょうか？ぜひ噂や“役員が言っているから”ということのを鵜呑みにせず、事実を自分の目・耳で確かめてください。

噂や偏った情報に流されないで自分の目・耳で事実を確認してください！

今こそ東労組に結集し、20春闘勝利へ向けて共にたたかおう！